【働くものと県民のための静岡県労働研究所】

11月17日(木)　18：30～

会場：静岡県評会議室

第115回定例研究会

だれでも参加できます

介護人材育成と外国人労働者問題
－中国との交流をとおして

報告：磯野　博　氏（日本医療総合研究所　協力研究員）

これからの企画

◆現代労働負担研究会 in 浜松
・日時…11月12日(土)14時～
・会場…浜松労働会館
「アメリカ労働運動の新潮流
とサンダース現象」
報告：伊藤大一氏

◆第116回定例研究会
・日時…12月21日(水)18：30～
・会場…静岡県評会議室
「韓国の給付型奨学金制度」(仮題)
報告：福島みのり氏

◆第117回定例研究会
・日時…1月　日(　)18：30～

◆第118回定例研究会
・日時…2月23日(木)18：30～

◆第119回定例研究会
・日時…3月23日(木)18：30～

静岡県の2025年の介護職充足率は86.9％

厚生労働省によると、団塊の世代が後期高齢者を迎える2025年に必要な介護職、約253万人に対して供給見込は約215万人と推計されている。これでは介護職の充足率は85.1%であり、37.7万人不足する。静岡県は86.9%である。

このような状況に対処すべく、各都道府県は、介護保険事業支援計画において2025年に向けた介護人材確保のための方策を検討している。静岡県も2015年7月17日、「第7次長寿者保健福祉計画」を公表し、従来から取り組んでいる独自の介護職に対するキャリアパス制度の充実などを打ち出した。

とはいえ、わずか10年弱で介護職の充足率の低迷を逆転させることには困難がある。そのようななか、改めて介護分野における外国人労働者の活用という命題が浮上している。静岡県も例外ではない。2008年から、既に静岡県内の社会福祉法人では介護職の受け入れを表明している。介護分野における外国人労働者の受け入れに関する環境整備は着々と進みつつあるといえる。

中国との交流をとおして、今後の日中における介護人材の育成のあり方を模索する。

※連絡先：〒422-8062　静岡市駿河区稲川2-2-1　セキスイハイムビルディング７Ｆ（静岡県評内）
静岡県労働研究所　　TEL　054-287-1293　FAX　054-286-7973
メール roudouadv@wave.wbs.ne.jp　ホームページ http://www.geocities.jp/shizuokarouken/